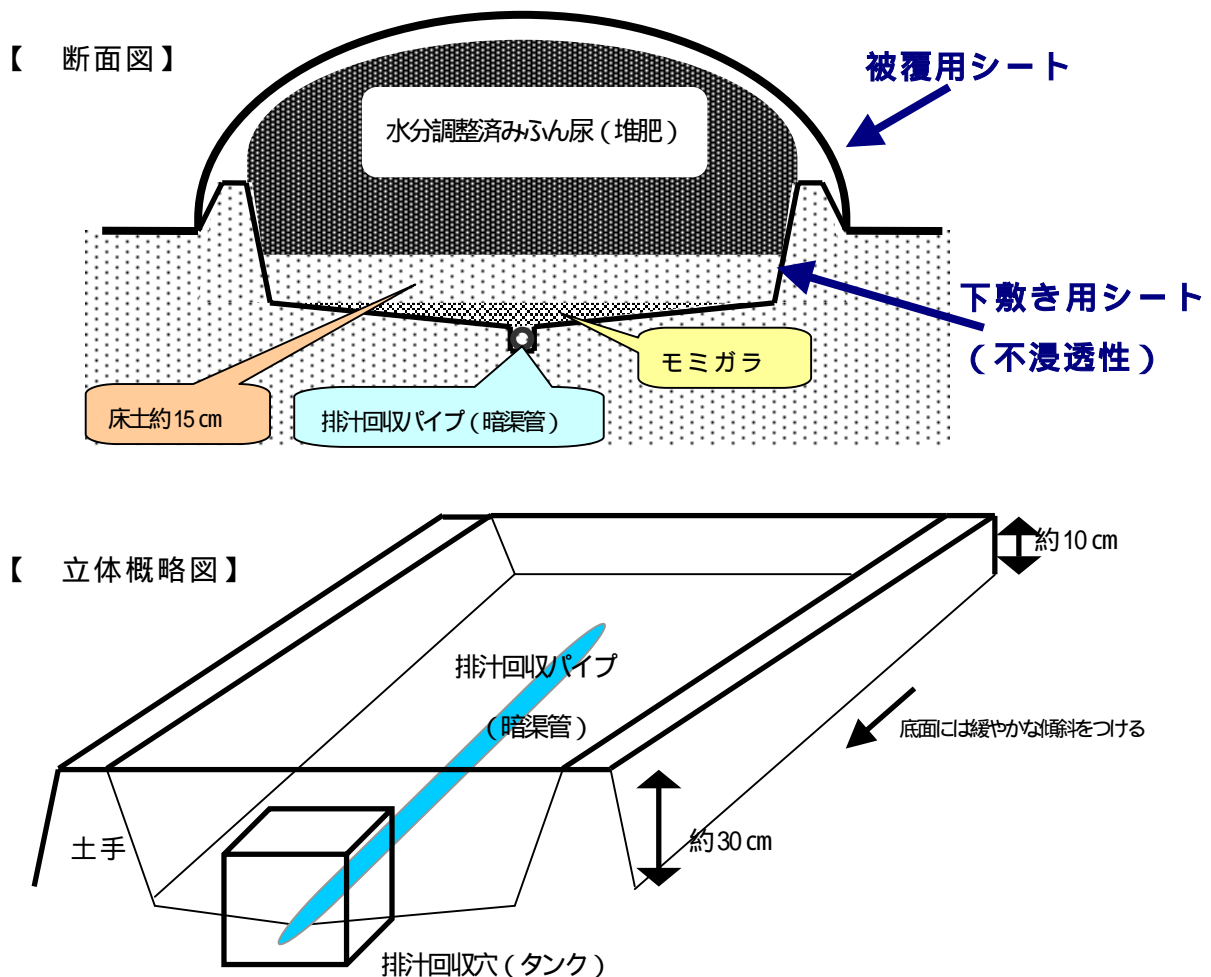


不浸透性シートを利用した野外堆積施設(初報)

来年 10 月の施設整備猶予期限まで、残すところ一年余りとなりました。しかし畜産農家からは『助成事業等の申請をしているが、整備期限には間に合わない』『経営規模が大きくないからふん尿処理に莫大な投資はできないが、整備はしなければならない』『整備に必要な資金調達ができるまで、一時的でも野積みや素堀を解消しなければ』といったような、様々な声が聞かれます。

畜産試験場では家畜排せつ物法に準拠し、かつ低コストで簡易なふん尿処理および堆肥保管技術に関する試験を、本年度より実施しています。

図解：野外堆積施設の概要



表紙で紹介のように当場の試験施設は公開展示しています。ぜひ、各種資材の使用状況をご覧になり、各々のふん尿処理方法や用途 使用期間などの諸条件にあった資材の選択に役立ててください。(畜産環境研究室 北條亨)